

週間市場レポート (2019年9月23日~9月27日)

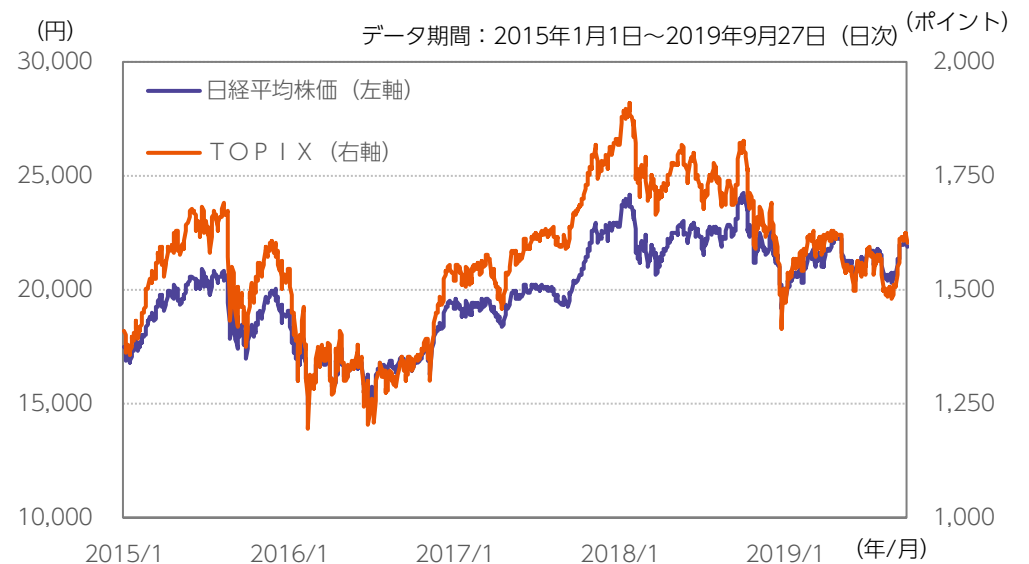
1) 先週の市場動向

| 指数名 | 国 | 前週末 2019/9/20 | 先週末 2019/9/27 | 前週末比 (%) |
|--------------------------------|---|------------------|------------------|-------------|
| 日経平均株価 (円) | | 22,079.09 | 21,878.90 | ▲ 0.91 ↓ |
| TOPIX (東証株価指数) | | 1,616.23 | 1,604.25 | ▲ 0.74 ↓ |
| ダウ工業株30種平均 (ドル) | | 26,935.07 | 26,820.25 | ▲ 0.43 ↓ |
| S & P500種指数 | | 2,992.07 | 2,961.79 | ▲ 1.01 ↓ |
| ユーロ・ストックス50指数 | | 3,571.39 | 3,545.88 | ▲ 0.71 ↓ |
| S & P/A S X300指数 | | 6,689.69 | 6,675.64 | ▲ 0.21 ↓ |
| 上海総合指数 | | 3,006.45 | 2,932.17 | ▲ 2.47 ↓ |
| MSCI AC アジア (除く日本)* | | 783.32 | 767.35 | ▲ 2.04 ↓ |
| 東証REIT指数 | | 2135.41 | 2180.25 | 2.10 ↑ |
| FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数 | | 782.75 | 784.39 | 0.21 ↑ |
| ASX300 REIT 指数 | | 1590.00 | 1601.90 | 0.75 ↑ |
| グローバルREIT (除く日本)* | | 198.55 | 199.93 | 0.70 ↑ |
| 日本10年国債 (%) | | ▲ 0.21 | ▲ 0.24 | ▲ 0.03 ↓ |
| 米国10年国債 (%) | | 1.72 | 1.68 | ▲ 0.04 ↓ |
| ドイツ10年国債 (%) | | ▲ 0.52 | ▲ 0.57 | ▲ 0.05 ↓ |
| 英国10年国債 (%) | | 0.63 | 0.50 | ▲ 0.13 ↓ |
| ドル/円 | | 107.56 | 107.92 | 0.33 ↑ |
| ユーロ/円 | | 118.53 | 118.11 | ▲ 0.35 ↓ |
| 英ポンド/円 | | 134.25 | 132.63 | ▲ 1.21 ↓ |
| 豪ドル/円 | | 72.78 | 73.01 | 0.32 ↑ |
| フィラデルフィア半導体指数 | | 1563.01 | 1542.87 | ▲ 1.29 ↓ |
| WTI原油先物 (ドル) | | 58.09 | 55.91 | ▲ 3.75 ↓ |
| CRB指数 | | 177.34 | 175.72 | ▲ 0.91 ↓ |
| アレリアンMLP指数 | | 1,225.87 | 1,183.22 | ▲ 3.48 ↓ |

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。米中貿易交渉の進展期待を背景とした買いの一方、短期間での上昇幅が大きかったことによる高値警戒感による利益確定売りもあり、週を通じて一進一退の展開となりました。週末は、香港のデモ活動観測やトランプ米大統領の弾劾問題を受けた投資家のリスク回避的な売りが優勢となり、前日比で下落となりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。黒田日銀総裁が、追加緩和策の手段として短期・中期債の金利引き下げについて言及したことなどから、中期債を中心に債券は買いが優勢となりました。前週末と同様、日本銀行の金利誘導目標の下限（-0.2%程度）を下回って週の取引を終えました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に下落となりました。米中貿易摩擦の過度な警戒感や一方、香港のデモ活動観測やトランプ米大統領の弾劾問題を受けた投資家のリスク回避的な売りが優勢となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米中貿易摩擦に対する過度な警戒感が和らぎ、相対的に「低リスク通貨」とされる円は売りが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週は、米中貿易摩擦の過度な警戒感が和らいだ一方、短期間での株価の上昇幅が大きかったことなどから利益確定売りに押され、株式市場は小幅に下落となりました。

今週は、米国の9月のISM製造業および非製造業景気指数が注目材料となりそうです。市場予想では、製造業は活動の拡大と縮小の境目となる50を回復する見込みであり、大きなサプライズがなければ株式市場は上昇するものと思われます。ただし、これまでの短期的な上昇による高値警戒感、トランプ米大統領の弾劾裁判問題や香港のデモ活動の動向によっては下落することも予想されます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>